

教科・科目	高１英語 論理表現(基礎)	
担当者	小山	
評価割合（試験：試験外）	試験：６ 試験外：４	
年間を通じて教科で培う力	鍛錬（知識・理解）	英文法や語彙、談話方略などの基礎知識を習得し、状況に応じて適切に使いこなす力を養う。
	理知（論理）	目的や文脈に応じて情報を整理し、自分の意見や考えを筋道立てて表現する力を育てる。
	探求・叡智（創造）	実社会と結びついた課題に対して、自ら問いを立て、多角的に考察し、創造的かつ他者に伝わる形で表現する力を高める。

ここでの評価が、試験外評価と一致します

月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4	4	<b>Unit 0</b> Get to know more about your classmates <b>Unit 1</b> Smart home, smart city	・相手について今まで知らなかったことを聞き出すことができる。 ・相手と会話を続けて、自分との共通点を探し出すことができる。 ・希望を伝え、スケジュールを相談しながら決めることができる。 ・情報を共有し、自分たちの町に役立つか話し合うことができる。 ・展示会についての感想をブログの日記に書くことができる。	・自分の発言が正しいか確認する ・相手の話を理解して考えを付け足す 1) 動詞 / 否定文と疑問文 2) 基本文型 ・相手の発言に驚いて反応する ・相手に同情する気持ちを伝える 時を表す表現	<b>話すこと（やり取り）</b> 対話：反応・意図伝達 【意識すること】 反応・継続性 / 適切な語彙の使用	教科書のDrillsの問題を使って、各文法事項の用法を理解し、適切に使うことができるかどうかを評価する。教科書のGrammar in Contextの問題を使って、各文法事項の用法を理解し、適切に使うことができるかどうかを評価する。Speak①や②のUseful Expressionsの学習を通して、各文法事項の用法を理解し、タスクの中で適切に使うことができるかどうかを評価する。教科書のタスク活動とUseful ExpressionsやModel Dialogueの学習を通して、パートナーと適切にやり取りができるかどうかを評価する。教科書のタスク活動とUseful ExpressionsやModel Dialogueの学習を通して、パートナーと適切にやり取りができるかどうかを評価する。
5	6	<b>Unit 2</b> History and future of our town <b>Unit TL1</b> The town you want to live in in the future	・魅力を紹介し、相手に関心を持たせて誘うことができる。 ・通りを見ながら町並みの変化について説明することができる。 ・移住体験ツアーをすすめるウェブの広告文を書くことができる。 ・意見を明確に示したまとまりのある文章を書くことができる。 ・自分が将来今の町に住み続けたいかについてスピーチをすることができる。	・相手の期待に反することを言う ・相手の発言を認め、たうえで反論する 完了形	<b>書くこと</b> 作文：構成・表現・文法 【意識すること】 内容の明確さ / 文法の正確さ <b>話すこと（発表）</b> 発表：構成・態度・視覚資料 【意識すること】 構成・一貫性 / 内容の適切さ	同上。プラス、教科書のタスク活動を通して、例題や自分自身の英作文が適切に書けるかどうかを評価する。Logical Writing Tipsの学習やWriteでの活動を通して、学習したTipを適切に使うことができるかどうかを評価する。Logical Writing Tipsの学習やWriteでの活動を通して、学習したTipを適切に使うことができるかどうかを評価する。Writeの活動を通して、Logical Writing Tipsで学習したTipを生かしながら、論題についてまとまりのある文章を適切に書けるかどうかを評価する。Writeで書いた文章をもとにグループやクラスで発表活動を行い、適切にスピーチができるかを評価する。
6	8	<b>Making a Speech</b> <b>Unit 3</b> Preparing for a natural disaster	（定期試験終了後） ・興味のある商品を紹介し、その特長を説明することができる。 ・店員に要望を伝え、購入する商品を決めることができる。 ・防災意識を高めるパンフレットの文章を書くことができる。	（定期試験終了後） ・念を押して確認する ・驚いて聞き返す 助動詞	<b>複合</b> 場面に応じて設定・活動に応じて評価 <b>書くこと</b> 作文：構成・表現・文法 【意識すること】 内容の明確さ / 文法の正確さ	・ <b>第１回定期試験（be動詞と一般動詞，否定文，疑問文，基本文型１:自動型(SV)，基本文型２:説明型(SVC)，基本文型３:他動型(SVO)，基本文型４:授与型(SVOO)，基本文型５:目的語説明型(SVOC)，現在形と過去形，現在進行形と過去進行形，未来を表す表現，未来を表すその他の形を理解し，適切に使うことができる。）</b> 同前。プラス、教科書のタスク活動を通して、例題や自分自身の英作文が適切に書けるかどうかを評価する。

7	4	<b>Unit 4</b> Water supporting our lives	・相手が知らない情報について説明することができる。・問題に対処するための道具を紹介することができる。・道具購入の寄付を募るためのポスターを書くことができる。・相手が知らない情報について説明することができる。・問題に対処するための道具を紹介することができる。・道具購入の寄付を募るためのポスターを書くことができる。	・相手の発言に共感する ・相手の発言を明確に肯定する・相手の発言に共感する・相手の発言を明確に肯定する <b>受動態</b>	<b>書くこと</b> 作文：構成・表現・文法 【意識すること】内容の明確さ / 文法の正確さ	・ <b>第 2 回定期試験</b> （助動詞must, 助動詞may, 助動詞will, 助動詞can, 助動詞should, 助動詞shall, had better／used to, 助動詞の控え目表現／依頼表現, 助動詞＋完了形の用法, 受動態の基本形, 受動態の疑問文・否定文, 注意すべき受動態, 受動態のバリエーションを理解し, 適切に使うことができる。） 通常授業は同前。
9	6	<b>Unit TL2</b> Can you continue eco-friendly activities? <b>Q &amp; A after a Speech</b> <b>Unit 5</b> Save food you can still eat!	・適切な理由が示されたまとまりのある意見文を書くことができる。・環境に配慮した生活を続けるために大事なことについてスピーチをすることができる。・お互いの状況を踏まえて問題解決の結論を出すことができる。・情報を照らし合わせて条件に合うものを確認することができる。・フードバンク団体を支援する手紙を書くことができる。	・考え中であることを伝える ・話を踏まえて相手にすすめる <b>不定詞</b>	<b>話すこと（発表）</b> 発表：構成・態度・視覚資料 【意識すること】構成・一貫性 / 内容の適切さ <b>複合場面</b> 場面に応じて設定・活動に応じて評価□ <b>書くこと</b> 作文：構成・表現・文法【意識すること】内容の明確さ / 文法の正確さ	同前。プラス、Writeで書いた文章をもとにグループやクラスで発表活動を行い, 適切にスピーチができるかを評価する。教科書のタスク活動を通して, 例題や自分自身の英作文が適切に書けるかどうかを評価する。
10	10	<b>Unit 6</b> How can we become more health-conscious? <b>Unit TL3</b> What can we do to reduce food waste?	・自分の生活習慣を確認し, 変えたい習慣を伝えることができる。・相手からの悩み相談にアドバイスをすることができる。・生活習慣についての意見をウェブの掲示板に書くことができる。・適切な具体例や説明が示されたまとまりのある意見文を書くことができる。・フードロスを減らすために大事なことについてプレゼンテーションをすることができる。	・気の毒に思っていることを示す ・確信していることを示す <b>動名詞</b>	<b>話すこと（やり取り）</b> 対話：反応・意図伝達 【意識すること】反応・継続性 / 適切な語彙の使用 <b>話すこと（発表）</b> 発表：構成・態度・視覚資料 【意識すること】構成・一貫性 / 内容の適切さ	・ <b>第 3 回定期試験</b> （不定詞の名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法, 知覚動詞／使役動詞＋目的語＋動詞の原形の用法, 動詞＋目的語＋to不定詞の用法, 不定詞のバリエーション, 主語・目的語・説明語句（補語）・前置詞の目的語としての動名詞の用法, 動詞の目的語としてのto不定詞と動名詞の用法, 動名詞その他のポイントと動名詞を伴う重要表現を理解し, 適切に使うことができる。） 通常授業は同前。プラス、Writeで書いた文章をもとにグループやクラスで発表活動を行い, 適切にプレゼンテーションができるかを評価する。
11	8	<b>Making a Presentation</b> <b>Unit 7</b> How many clothes do you buy?	・贈るための商品を相談しながら決めることができる。・プレゼントへの感謝の気持ちを伝えることができる。・企業の講演に感想やお礼のメールを書くことができる。	・「まさか」と驚きを表す ・相手に提案する <b>分詞</b>	<b>複合場面</b> 場面に応じて設定・活動に応じて評価 <b>話すこと（発表）</b> 発表：構成・態度・視覚資料 【意識すること】構成・一貫性 / 内容の適切さ	同前。

12	4	<b>Unit 8</b> How do you decide which products to buy?	・おすすめの商品と比較しながら紹介することができる。 ・図表を見ながらパンフレットの内容を説明することができる。 ・フェアトレード商品のよさをブログで発信することができる。	・聞き逃したことを聞き返す ・相手の発言の意図を確認する <b>比較</b>	<b>複合</b> 場面に応じて設定・活動に応じて評価	・ <b>第4回定期試験</b> （分詞による名詞の修飾，説明型（SVC）の現在分詞・過去分詞，目的語説明型（SVOC）の現在分詞・過去分詞，分詞による動詞句の修飾，分詞による文の修飾（分詞構文），原級を用いた比較表現，比較級を用いた比較表現，最上級を用いた比較表現，さまざまな比較表現を理解し，適切に使うことができる。） 通常授業は同前。
1	6	<b>Unit TL4</b> Think before you buy! <b>Unit 9</b> A variety of ways to improve your English	・つなぎ言葉を用いて論理的な流れの意見文を書くことができる。 ・賛成と反対の立場に分かれて簡単なディベートをすることができる。 ・安価なシャツを買うかどうかについてスピーチをすることができる。 ・お互いの考えるよい方法を具体的に説明し合うことができる。 ・お互いの希望を伝え合い参加プログラムを決めることができる。 ・事前の問い合わせで疑問点を尋ねるメールを書くことができる。	・なぜかわからないと伝える ・話題にさらに論点を加える <b>関係詞節とその他の節</b>	<b>話すこと（発表）</b> 発表：構成・態度・視覚資料 【意識すること】 構成 ・一貫性 / 内容の適切さ <b>書くこと</b> 作文 ：構成・表現・文法 【意識すること】 内容の明確さ / 文法の正確さ	同前。
2	8	<b>Unit 10</b> How can we become foreigner-friendly? <b>Unit TL5</b> How can we make our community foreigner-friendly?	・相手の要望に合った提案をすることができる。 ・旅のエピソードを聞いて問題の解決策を話し合うことができる。 ・外国人観光客に役立つパンフレットの文章を書くことができる。 ・語句や文のつながりをよくして構成の整った意見文を書くことができる。 ・司会者を立てて簡単なディスカッションをし，結論を出すことができる。 ・移住してきた外国人に伝えることについてスピーチをすることができる。	・相手の発言に同意する ・残念な気持ちを示す <b>仮定法</b>	<b>書くこと</b> 作文：構成・表現・文法 【意識すること】 内容の明確さ / 文法の正確さ <b>話すこと（発表）</b> 発表：構成・態度・視覚資料 【意識すること】 構成・一貫性 / 内容の適切さ	同前。
3	2					・ <b>第5回定期試験</b> （関係代名詞who/whichの用法，関係代名詞whoseの用法，前置詞を関係代名詞の前に置く用法，関係代名詞thatの用法，関係副詞の用法，カンマで情報を追加する用法，whatを使った節の用法，wh語＋everを使った節の用法，if/whether節の用法，現在の状況についての仮定法，過去の状況についての仮定法，反事実的な願望を表すwishの用法，ifを伴わない仮定法を理解し，適切に使うことができる。）

